平成24年12月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年５月10日

上 場 会 社 名	株式会社ハイパー	上場取引所	大
コ ー ド 番 号	3054	URL	http://www.hyperpc.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	玉田　宏一
問合せ先責任者	（役職名） 取締役管理統括部長	（氏名）	江守　裕樹　(TEL) 03-6855-8180
四半期報告書提出予定日	平成24年５月14日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成24年12月期第１四半期の業績（平成24年１月１日～平成24年３月31日）

（１）経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第１四半期	4,786	39.5	93	△10.3	91	△12.2	60	△12.3
23年12月期第１四半期	3,432	△12.6	104	△30.4	104	△30.3	68	△22.1

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第１四半期	30.59	―
23年12月期第１四半期	34.90	―

(注)平成24年12月期第１四半期及び平成23年12月期第１四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため記載しておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第１四半期	5,644	1,544	27.4
23年12月期	4,801	1,504	31.3

（参考）　自己資本　　24年12月期第１四半期　　1,544百万円　　23年12月期　　1,504百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	11.50	―	11.50	23.00
24年12月期	―		―		
24年12月期(予想)		11.50	―	11.50	23.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成24年12月期の業績予想（平成24年１月１日～平成24年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、第２四半期(累計)は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	8,941	32.0	143	△16.4	139	△18.0	78	△29.7	39.76
通期	17,000	20.5	207	19.6	200	18.9	112	1.4	57.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

４．その他

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期１Ｑ	2,011,500株	23年12月期	2,011,500株
②　期末自己株式数	24年12月期１Ｑ	49,500株	23年12月期	49,500株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期１Ｑ	1,962,000株	23年12月期１Ｑ	1,962,000株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（３）追加情報 …… 4
３．四半期財務諸表 …… 5
（１）四半期貸借対照表 …… 5
（２）四半期損益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、長期化する欧州金融不安の継続など懸念すべき問題が多かったものの、昨年の震災やタイの洪水からの回復、円高の是正などにより国内景気は緩やかに持ち直す動きが見られました。

当社が属するコンピュータ販売業界におきましては、法人、個人ともにパソコンの出荷台数は伸びたものの、価格競争の激化による販売価格の下落が進みました。

このような状況の下、当社は強みである在庫戦略を強化し、既存取引先との取引拡大に努めるとともに、新規取引先開拓による取引先数の拡大を図りました。

以上の結果、当第１四半期累計期間の売上高は4,786,776千円（前年同四半期比39.5％増）、経常利益は91,761千円（前年同四半期比12.2％減）、四半期純利益は60,017千円（前年同四半期比12.3％減）となりました。

①　情報機器販売事業

市場のニーズを捉えた商品を提供する体制を整え売上を伸ばしたものの、価格競争の激化による販売価格の下落により、売上高は3,699,150千円（前年同四半期比19.9％増）、営業利益は88,949千円（前年同四半期比17.7％減）となりました。

②　アスクルエージェント事業

既存取引先の稼働促進や新規取引の拡大が順調に推移したことにより、売上高は1,086,578千円（前年同四半期比220.4％増）、営業利益は6,949千円（前年同四半期は営業損失1,824千円）となりました。

③　その他

その他におきましては、派遣事業等を行っております。

その他全体での売上高は1,047千円（前年同四半期比85.2％減）、営業損失は2,099千円（前年同四半期は営業損失1,687千円）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

①　資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当第１四半期会計期間末の流動資産の残高は、5,120,414千円（前事業年度末は4,232,133千円）となり、888,280千円増加いたしました。現金及び預金が減少したものの、売掛金が増加したことが大きな要因であります。

（固定資産）

当第１四半期会計期間末の固定資産の残高は、524,285千円（前事業年度末は569,316千円）となり、45,030千円減少いたしました。無形固定資産及び投資その他の資産が減少したことが大きな要因であります。

（流動負債）

当第１四半期会計期間末の流動負債の残高は、3,635,519千円（前事業年度末は2,774,095千円）となり、861,423千円増加いたしました。短期借入金が減少したものの、買掛金が増加したことが大きな要因であります。

（固定負債）

当第１四半期会計期間末の固定負債の残高は、464,212千円（前事業年度末は522,666千円）となり、58,453千円減少いたしました。長期借入金の減少が大きな要因であります。

（純資産）

当第１四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ40,279千円増加し1,544,968千円となりました。自己資本比率は31.3％から27.4％に減少しました。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成24年２月10日に「平成23年12月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました業績予想から、現在のところ変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（３）追加情報

当第１四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号　平成21年12月４日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日)を適用しております。

３【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年12月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,218,008	1,117,457
受取手形及び売掛金	2,475,588	3,425,714
商品	484,335	494,770
その他	64,785	100,811
貸倒引当金	△10,583	△18,339
流動資産合計	4,232,133	5,120,414
固定資産		
有形固定資産	49,383	48,298
無形固定資産	367,757	346,586
投資その他の資産		
投資有価証券	29,489	33,879
その他	198,228	179,978
貸倒引当金	△75,543	△84,456
投資その他の資産合計	152,175	129,401
固定資産合計	569,316	524,285
資産合計	4,801,450	5,644,700
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,772,670	2,882,676
短期借入金	600,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	238,865	234,060
未払法人税等	5,311	45,908
賞与引当金	41,927	25,201
その他	115,321	147,673
流動負債合計	2,774,095	3,635,519
固定負債		
長期借入金	507,105	448,590
その他	15,561	15,622
固定負債合計	522,666	464,212
負債合計	3,296,761	4,099,731

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年12月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	250,865	250,865
資本剰余金	201,000	201,000
利益剰余金	1,076,489	1,113,944
自己株式	△14,979	△14,979
株主資本合計	1,513,375	1,550,829
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,686	△5,861
評価・換算差額等合計	△8,686	△5,861
純資産合計	1,504,688	1,544,968
負債純資産合計	4,801,450	5,644,700

(2)【四半期損益計算書】
【第１四半期累計期間】

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年３月31日）	当第１四半期累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）
売上高	3,432,583	4,786,776
売上原価	2,941,307	4,194,874
売上総利益	491,276	591,902
販売費及び一般管理費	386,695	498,102
営業利益	104,581	93,799
営業外収益		
受取利息	193	143
受取配当金	10	10
広告料収入	－	300
その他	706	180
営業外収益合計	910	633
営業外費用		
支払利息	1,021	2,671
その他	2	－
営業外費用合計	1,024	2,671
経常利益	104,467	91,761
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,628	－
保険解約返戻金	－	18,864
特別利益合計	4,628	18,864
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,658	－
特別損失合計	1,658	－
税引前四半期純利益	107,437	110,626
法人税、住民税及び事業税	23,202	44,102
法人税等調整額	15,764	6,506
法人税等合計	38,966	50,609
四半期純利益	68,470	60,017

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期累計期間(自　平成23年１月１日　至　平成23年３月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額	四半期損益計算書計上額（注）２
	情報機器販売事業	アスクルエージェント事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,086,391	339,097	3,425,489	7,094	3,432,583	—	3,432,583
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,086,391	339,097	3,425,489	7,094	3,432,583	—	3,432,583
セグメント利益又は損失(△)	108,093	△1,824	106,268	△1,687	104,581	—	104,581

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、派遣事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益であります。

Ⅱ　当第１四半期累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年３月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額	四半期損益計算書計上額（注）２
	情報機器販売事業	アスクルエージェント事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,699,150	1,086,578	4,785,729	1,047	4,786,776	—	4,786,776
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,699,150	1,086,578	4,785,729	1,047	4,786,776	—	4,786,776
セグメント利益又は損失(△)	88,949	6,949	95,899	△2,099	93,799	—	93,799

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、派遣事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益であります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

（重要な子会社の設立）

当社は、平成24年４月17日開催の取締役会において、下記のとおり子会社を設立することを決議し、平成24年４月25日に設立いたしました。

１．子会社設立の理由

小規模企業向けにサーバ等の情報通信機器の販売を行うため、子会社を設立いたしました。

２．子会社の概要

（１）	商号	株式会社リステック
（２）	本店所在地	東京都中央区日本橋堀留町２－９－６　ニューＥＳＲビル
（３）	代表者	玉田　宏一　（当社代表取締役）
（４）	事業内容	小規模企業向けサーバ等の情報通信機器の企画・販売
（５）	資本金	50,000千円
（６）	設立年月日	平成24年４月25日
（７）	株主構成	当社 100%